

アメリカ輸送軍のリーダーシップ 横田を視察 *USTRANSCOM leadership visits Yokota*

July 2, 2025

By Airman Kayla Karelas
374th Airlift Wing Public Affairs

6月8日、アメリカ輸送軍(USTRANSCOM)のリーダーシップがイマージョンツアーの一環として横田基地を訪れ、複数の部隊を視察した。

アメリカ輸送軍司令官ランドール・リード大将与、最先任上級曹長のブライアン・クルーゼルニック最上級曹長は、太平洋地域の複数の基地を訪問する間、現地の運用状況を視察するとともに、部隊との意見交換を行う。

こうしたイマージョン・ツアーは、軍事輸送の即応態勢を強化するとともに、アメリカ輸送軍が担う世界規模の戦力を展開、維持する使命の理解を深めることを目的としている。その使命は、友好国、同盟国との関係を強化し、潜在的な敵となる勢力を抑止し、必要時に断固とした対応を可能にするものである。

(写真1) 6月8日、横田基地に到着したアメリカ輸送軍司令官ランドール・リード大將(右)を出迎える第515航空機動運用群下士官責任者アイザア・エンクイスト最上級曹長。



1

(写真2) 横田基地で視察を行い、部隊との意見交換を行うアメリカ輸送軍最先任下士官ブライアン・クルーゼルニック最上級曹長。



2

(写真3) アメリカ輸送軍司令官ランドール・リード大將から功績を称えられ、贈られた記念コインを手にする空兵たち。



3